

○事業所名	ブレイン十三センター		
○保護者評価実施期間	2025年 2月13 日	～	2025年 2月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日	～	2025年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・保育士などの職員が専門的な視点でアセスメントをとり支援に活かしています	朝ミーティングで支援の情報共有や意見だしを行い、夜ミーティングで支援の振り返りをして療育が継続していくようにしています。	お子様の些細な仕草や様子など気づいたこと、保護者様とのやりとりをスタッフ間で共有することで、どのスタッフでも細やかな配慮や対応ができるように努めてまいります。
2	個々の特性や課題にあった支援を提供しています	苦手なことや切り替えが必要になる場面でも他者の介入だけでなく自分で解決していけるように寄り添った対応を心がけています	その日のお子様の状態によってイメージ通りの結果ではない時もありますが、しっかり状態を把握して柔軟に対応できるスキルを身に付けていくように研鑽していきます
3			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子供と一緒に活動する機会はありません。	1時間の支援時間の中でその機会を持つのは難しいです。	現在は交流が必要な場面がございませんので、実地はしておりませんが、機会がございましたら随時検討してまいります
2	非難訓練や非常時等対応の実施に関することを保護者様に周知できていない。	スタッフのみで避難訓練・防災訓練を実地しております。マニュアルも作成しておりますが、周知の機会がもてていなかったです	教室内に掲示するなどお知らせ方法について検討します
3			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	2	職員の配置数は適切である	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	○		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	18	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		
	21	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有し、相互理解を深めている	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	31	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	33	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
35	個人情報に十分注意している	○			
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	48	事前に、簡業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	○		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		

事業運営に関する利用者様の評価

回答期間： 2025年2月13日～20日

事業所名： **ブレイン 十三センター**

サービス形態： **放課後等デイサービス**

	チェック項目	回答状況				改善策について	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80.0%	10.0%	0.0%	10.0%	法令に遵守したスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	法令に遵守した人数を配置しております。今後も引き続き定期的に研修を行い研鑽してまいります	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%	建物自体に段差などございますが事務所内はバリアフリー化に対応できるよう今後も配慮してまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%	55.6%	11.1%	11.1%	各部屋に空気清浄機を設置したり、アルコール消毒を行っております	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	必要に応じて親御様からアセスメントをとり、担当者によるケース会議を経て個別支援計画を作成しています。お子様・親御様の状況やニーズに即した支援計画作成に努めていきたいと考えております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	80.0%	10.0%	0.0%	10.0%	提供内容がわかりやすい支援プログラムを公表しています。わかりにくい点がございましたらご質問ください	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	保護者さまから課題やニーズをお聞きしたことを反映させております	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80.0%	10.0%	0.0%	10.0%	必要な項目はすべて記載させて頂いております	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	計画で立てた目標の達成となるよう支援を進めています	
	10 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	90.00%	0.0%	0.0%	10.0%	お子様の課題や特性を踏まえ、プログラムの内容を毎回組み立てております。同じ取り組みであっても工程数や難易度、抽象度を変えるなど、成長に合わせて工夫しております。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	地域交流に関しては、限られた指導時間内での地域交流の実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりません。	
	12 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	今後も丁寧な対応、説明を心掛けて参ります。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	丁寧な説明を心がけてまいります	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	25%	12.5%	0%	62.5%	研修会などは行っていませんが、必要に応じて対応していきます	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	保護者様へ支援内容や利用者様のご様子などの解説・フィードバックを毎回行うことでトレーニングに関する共通理解を図るよう努めております。また保護者様から学校やご家庭での様子をお話し現状の課題や改善策についてもお話しする機会を適宜もつようしております。	
保護者への説明等	16 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%	0%	0%	25%	お子様や保護者様の困りごとやお悩みを汲み取ってサポートできたらと思います	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%	保護者会等の開催は現在行っておりません。今後ご要望が多いようでしたら検討をさせていただきたいと存じます。	
	19 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	ご意見ご要望をいただいた際には保護者様と面談のお時間を作らせて頂き、保護者の皆様がお話ししやすい環境を設けるようにしています。また、改善方法なども含めて迅速かつ丁寧に対応させていただくよう心掛けております。	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%	適宜、ご来所時にお声がけさせて頂いたり情報伝達ツールとしてメールを用いさせて頂いております。	
	21 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	それぞれのお子様に応じた個別のプログラムを提供させていただいておりますので、活動内容などの公開はございませんが、自己評価は、公開させていただいております	
	22 個人情報に十分注意しているか	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	個人情報に記載された書類は常時鍵付き書庫へ保管を徹底する、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等の対応を行っております。	
	非常時等の対応	23 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30.0%	0.0%	10.0%	60.0%	マニュアルは各種作成の上、指導員含め全職員の非常訓練は定期的に行っております。緊急時の役割なども職員間で話し合い備えております。しかしながら限られた指導時間内での訓練の実施は難しいことからお子様親御様も含めての訓練につきましては、行っておりません。非常災害の際もご安心いただけるよう、情報提供など努めてまいります。
		24 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20.0%	0.0%	50.0%	30.0%	
		25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50%	0%	12.5%	37.5%	安全な環境下でサービスを提供できるよう気を付けていきます
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		22.2%	0.0%	55.6%	22.2%	お子様との信頼関係を築いたり、寄り添ったコミュニケーションとなるよう今後も引き続き心掛けます	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	お子様との信頼関係を築いたり、寄り添ったコミュニケーションとなるよう今後も引き続き心掛けます	
	28 子どもは通所を楽しみにしているか	50.0%	20.0%	0.0%	30.0%	楽しく通所していただけるように心掛けておりますが、課題への取り組みとして行う機能トレーニングでは負荷がかかることもあるので好きなことと組み合わせたりしながら能力を伸ばしていけるよう努めます	
	29 事業所の支援に満足しているか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	利用者様とご家族さまのニーズにあった支援の提供を心掛けてまいります	

○事業所名	ブレイン十三センター		
○保護者評価実施期間	2025年 2月13 日	～	2025年 2月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日	～	2025年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・保育士などの職員が専門的な視点でアセスメントをとり支援に活かしています	朝ミーティングで支援の情報共有や意見だしを行い、夜ミーティングで支援の振り返りをして療育が継続していくようにしています。	お子様の些細な仕草や様子など気づいたこと、保護者様とのやりとりをスタッフ間で共有することで、どのスタッフでも細やかな配慮や対応ができるように努めてまいります。
2	個々の特性や課題にあった支援を提供しています	苦手なことや切り替えが必要になる場面でも他者の介入だけでなく自分で解決していけるように寄り添った対応を心がけています	その日のお子様の状態によってイメージ通りの結果ではない時もありますが、しっかり状態を把握して柔軟に対応できるスキルを身に付けていくように研鑽していきます
3			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子供と一緒に活動する機会をもてておりません。	1時間の支援時間の中でその機会を持つのは難しいです。	現在は交流が必要な場面がございませんので、実地はしておりませんが、機会がございましたら随時検討してまいります
2	非難訓練や非常時等対応の実施に関することを保護者様に周知できていない。	スタッフのみで避難訓練・防災訓練を実地しております。マニュアルも作成しておりますが、周知の機会がもてていなかったです	教室内に掲示するなどお知らせ方法について検討します
3			

事業運営に関する自己評価

評価実施日：2025年2月18日

事業所名：

ブレイン 十三センター

サービス形態：児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			
		必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>		時間帯によっては使用している場合がありますが、必要に応じて対応します
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			医療的ケアが必要なお子様は現在おられません
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもを主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			医療的ケアが必要なお子様は現在おられません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	<input type="radio"/>			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			<input type="radio"/>	招待する機会や必要性があれば対応します
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			<input type="radio"/>	食べ物の提供は行っておりません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>			

事業運営に関する利用者様の評価

回答期間： 2025年2月13日～20日

事業所名：

ブレイン ナイスセンター

サービス形態：

児童発達支援

	チェック項目	回答状況				改善策について
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	指導訓練室は法令に遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	法令に遵守した人数を配置しております。また、指導員が日々スキルアップできるよう、研修を継続的に行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	建物自体に段差はございますが事務所内はできるだけバリアフリー化に対応できるよう今後も配慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	各部屋には空気清浄機を設置したり、毎日清掃・感染症予防の消毒を行っております。また1支援ごとに使用したツールは消毒を行うなど、感染症予防も徹底しています
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	特性を理解してお子様個々にあった支援を提供するように今後も努めます
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	プログラムに取り組み利用者さまの様子に応じて柔軟に変更・修正し個々の能力が伸ばしやすくなるよう調整しております。また新しいツールや取り組みも取り入れております。
	7 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	モニタリングや担当者会議を行い、複数の意見を取り入れて作成しています
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	個々の利用者様に応じた個別支援計画を作成しております
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	利用者様の状態に合わせて半年ごとに計画を見直しを行うと共に計画に沿った支援を提供しております
	10 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	50.00%	0.0%	0.0%	50.00%	プログラムに取り組み利用者さまの様子に応じて柔軟に変更・修正し個々の能力が伸ばしやすくなるよう調整しております。また新しいツールや取り組みも取り入れております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0.0%	50.00%	0.0%	50.00%	地域交流に関しては、限られた指導時間内での地域交流の実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしていません。
適切な支援の提供	12 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	ご契約時に関係する書類のご説明を行っておりますが、ご不明と感じる点などございましたら、お申し付けください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画を作成した際は、保護者様に説明をさせて頂いております
	14 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている	50.00%	0.0%	0.0%	50.00%	プログラムとしてペアレントトレーニングは、現在行っておりませんが、必要に応じて個別での相談・助言等の支援をさせて頂く機会を持つようにしております
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	保護者様へ支援の内容や利用者様のご様子などの解説・フィードバックを毎回行うことでトレーニングに関する共通理解を図るよう努めております。気になる事がございましたらいつでもお気軽にご相談ください。
	16 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	17 事業所の職員から共感的に支援がされている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている	0.0%	0.0%	50.00%	50.00%	保護者会等の開催は行っておりません。ご要望が多いようでしたら検討をさせていただきます。
	19 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	ご意見ご要望をいただいた際には保護者様と面談の時間を作らせて頂き、保護者の皆様がお話ししやすい環境を設けるようにしています。また、改善方法なども含めて迅速かつ丁寧に対応させていただいております。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	適宜、ご来所時にお声がけさせて頂いたり情報伝達ツールとしてメールを用いさせて頂いております。
	21 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	それぞれのお子様に応じた個別のプログラムを提供させて頂いておりますので、活動内容などの公開はございませんが、自己評価は、公開させて頂いております
	22 個人情報の取扱いに十分注意されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	個人情報に記載された書類は常時鍵付き書庫へ保管を徹底する、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等の対応を行っております
非常時等の対応	23 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	24 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	マニュアルは各種作成の上、指導員含め全職員の非常訓練は定期的に行っております。緊急時の役割なども職員間で話し合い備えております。しかしながら限られた指導時間内での訓練の実施は難しいことからお子様親御様も含めての訓練につきましては、行っておりません。非常災害の際もご安心いただけるよう、情報提供など努めてまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされている	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	支援員との信頼関係を築くと共に楽しく通所していただけるように心掛けておりますが、課題への取り組みとして行う機能トレーニングでは負担がかかることもあるので好きなことと組み合わせたりしながら能力を伸ばしていけるよう努めます
	28 子どもは通所を楽しみにしている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	29 事業所の支援に満足している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	利用者様とご家族さまのニーズにあった支援の提供を心掛けてまいります